

1 結果の要約

(1) 出生数は増加

出生数は 5,551 人で、前年の 5,359 人から 192 人増加し、出生率（人口千対）は 8.1 で、前年の 7.7 を上回った（全国第 16 位）。

合計特殊出生率は 1.78 で、前年の 1.66 を上回り、全国第 2 位（昨年 は第 3 位）であった。第 1 位は沖縄県（1.96）、第 2 位は島根県（1.78）、第 3 位は宮崎県（1.71）、第 4 位は鹿児島県（1.70）である。

(2) 死亡数は増加

死亡数は 9,604 人で、前年の 9,369 人から 235 人増加した。死亡率（人口千対）は 13.9 で、前年の 13.5 を上回った（全国第 2 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 26.3%、14.5%、9.6%である。本県では平成 7 年以降、死亡者のおよそ 3 割の死因が悪性新生物となっている。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△4,053 人で、前年の△4,010 人から 43 人減少し、自然増減率（人口千対）は△5.9 で、前年の△5.8 より 0.1 減少した（全国第 42 位）。本県は平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は 107 胎で前年の 124 胎より 17 胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 18.9 で、前年の 22.6 を下回った。死産率のうち、自然死産率は 7.2（前年は 11.9）、人工死産率は 11.7（前年は 10.8）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、2,931 組で、前年の 3,022 組から 91 組減少し、婚姻率（人口千対）は 4.3 で、前年の 4.4 を下回った（全国第 39 位）。

平均初婚年齢は夫 30.4 歳、妻 29.1 歳で、夫は前年より 0.3 歳下降し、妻は前年より 0.2 歳上昇した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.4 歳）。

(6) 離婚件数は増加

離婚件数は 1,022 組で、前年の 966 組から 56 組増加し、離婚率は（人口千対）1.48 で前年の 1.40 を上回った（全国第 44 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	平成 27 年	平成 26 年	対前年 増減	平成 27 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 26 年
出生	5,551	5,359	192	8.1	7.7	1 時間 34 分 41 秒	1 時間 38 分 4 秒
死亡	9,604	9,369	235	13.9	13.5	54 分 43 秒	56 分 5 秒
乳児死亡	8	13	△ 5	1.4	2.4	45 日 15 時間	28 日 1 時間 50 分 46 秒
新生児死亡	6	3	3	1.1	0.6	60 日 20 時間	121 日 16 時間
自然増減	△ 4,053	△ 4,010	△ 43	△ 5.9	△ 5.8
死産	107	124	△ 17	18.9	22.6	3 日 9 時間 52 分 8 秒	2 日 22 時間 38 分 42 秒
自然死産	41	65	△ 24	7.2	11.9	8 日 21 時間 39 分 30 秒	5 日 14 時間 46 分 9 秒
人工死産	66	59	7	11.7	10.8	5 日 12 時間 43 分 38 秒	6 日 4 時間 28 分 28 秒
周産期死亡	14	17	△ 3	2.5	3.2	26 日 1 時間 42 分 51 秒	21 日 11 時間 17 分 38 秒
妊娠 22 週以後の死産	10	17	△ 7	1.8	3.2	36 日 12 時間	21 日 11 時間 17 分 38 秒
早期新生児死亡	4	0	4	0.7	...	91 日 6 時間	...
婚姻	2,931	3,022	△ 91	4.3	4.4	2 時間 59 分 19 秒	2 時間 53 分 55 秒
離婚	1,022	966	56	1.48	1.40	8 時間 34 分 17 秒	9 時間 4 分 5 秒

	平成 27 年	平成 26 年
合計特殊出生率*	1.78	1.66

*分母に用いた人口
年齢(5歳階級)別人口（総務省統計局）

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満 22 週以後の死産）千対である。